



2021年8月14日更新：この「よくある質問」は、米国で認可されているモデルナ(Moderna)、ファイザー(Pfizer) 及びヤンセン/ジョンソン&ジョンソン (Janssen/Johnson & Johnson) (J&J) が製造する3種類のCOVID-19ワクチンに関する情報を提供しています。

なぜワクチン接種は重要なのですか？

COVID-19ワクチン接種は、COVID-19を予防する最善の方法だからです。ワクチンは、人々がCOVID-19で病気になり、病院に入院したり死亡するのを防ぐのに非常に優れています。また、COVID-19により慢性疾患になるリスクや、仕事や学校を欠席しなければならないリスクも軽減します。

ワクチン接種を受けることで、自分自身だけではなく、家族や友人、隣人を守ることにもなります。その中には、まだワクチン接種をうけることができない12歳未満の子供や、免疫機能が非常に弱く、ワクチンの効果が低い人たちも含まれます。

ワクチン接種を受ける人が多ければ多いほど、COVID-19の蔓延や、ウイルスの新しい変異株が定着する可能性は低くなります。COVID-19に感染したことのある人でも、自然免疫が十分に持続しない、もしくは十分に強くない可能性があり、再び感染する可能性があるため、ワクチン接種を受ける必要があります。

あなたが、COVID-19ワクチン接種を受けることで、パンデミックを食い止めることができるのです。

ワクチンはどの程度効果がありますか？

ワクチンには非常に優れた効果があります。3つのワクチンはすべて、COVID-19による病気のリスクをデルタ株でさえも大幅に軽減し、重篤な症状、入院、死亡に対し非常に高い予防効果があります。

J&J製ワクチンを接種してから2週間後、もしくはファイザーまたはモデルナ製ワクチンの接種を2回受けてから2週間経つまで、ワクチン接種を完了しているとは見なされません。これは、ワクチン接種後に、体がCOVID-19に対する免疫を構築するのに時間を要するためです。ワクチンが効果を示し出す期間中に感染する可能性があるため、2週間にわたってCOVID-19から身を守ることが重要です。

ワクチン接種を完了した後でも、感染のリスクがわずかにあります。これはブレイクスルー感染と呼ばれます。ワクチン接種を受けた人が感染した場合、通常、ワクチン接種を受けていない人ほど重篤になることはなく、症状もそれほど長くは継続しません。また、症状がまったく無い場合もあります。

ワクチン接種を受ける

COVID-19ワクチン接種は有料ですか？

いいえ。健康保険に加入している場合は、医師または薬局が保険会社にワクチン接種料を請求することができます。健康保険に加入していない人も、COVID-19ワクチン接種を無料で受けることができます。誰に対しても自己負担はありません。

COVID-19ワクチン接種の際に、ビザ・滞在資格について質問されますか？

いいえ。COVID-19ワクチンは、ビザ・滞在資格に関係なく、無料で提供されます。COVIDワクチンを接種を受ける際に、ビザ・滞在資格について質問されることはありません。あなたの医療情報は個人情報であり、COVID-19ワクチンの接種を受けてもビザ・滞在資格に影響することはありません。

ワクチン接種を受けるために、政府発行の身分証明書や雇用主からの手紙は必要ありません。ビザ・滞在資格に関する質問については、入国管理局のウェブページ (oia.lacounty.gov) にアクセスするか、800-593-8222までお電話ください。



どうすればワクチン接種を受けることができますか？

ワクチン接種は、診療所、薬局、職場、学校、礼拝所、高齢者向け住宅施設、介護施設など、ロサンゼルス郡の数百の場所で受けることができます。メトロの駅や公園などには、地域のワクチン接種所、モバイルサイトやポップアップサイトもあります。在宅ワクチン接種は、家から外に出られない方が利用できます。大半の場所で予約は不必要です。

[VaccinateLACounty.com](https://www.vaccinate.lacounty.gov)にアクセスし、「[ワクチン接種を受ける方法](#)」をクリックして、接種場所を見つけるか、在宅でのワクチン接種を[リクエスト](#)してください。サポートが必要な場合は、**DPHワクチンコールセンター (833-540-0473、年中無休 8AM ~ 8:30PM)**にお電話してください。そこでは、在宅でのワクチン接種、ワクチン接種場所への無料の交通手段を手配、障害を持つ方々のためのパラトランジットやその他のサービスを提供しています。情報は、2-1-1に電話することにより、24時間年中無休で複数の言語で入手することもできます。

ロサンゼルス郡に引っ越してきたばかりですが、2回目のワクチン接種の予定日になっていません。2回目の接種はどこで受けられますか？

[VaccinateLACounty.com](https://www.vaccinate.lacounty.gov)にアクセスし（上記の手順を参照）、フィルターをクリックして、1回目の接種で受けた同じ種類のワクチンを提供している場所を探してください。2回目の接種の予約時にCDCワクチン接種カードを必ず持参してください。

COVID-19のワクチン接種は何回必要ですか？

- J&J/ヤンセンのワクチンの場合、1回の接種のみ。
- ファイザーのワクチンは、21日間隔で2回の接種。
- モデルナのワクチンは、28日間隔で2回の接種。

ワクチン接種が2回必要なワクチンで、2回目の接種が遅れた場合、1回目からやり直す必要はありません。2回の接種とも同じ種類のワクチンの接種を受けることが重要です。

3種のワクチンすべてに於いて、最後にワクチン接種を受けてから2週間経つまでは[ワクチン接種を完了](#)したとは見なされません。

免疫機能が中程度または重度に低下しており（免疫不全）、すでにファイザーまたはモデルナ製ワクチンの接種を2回受けている場合は、3回目の接種でも同じ種類のワクチンを受けることをお勧めします。FDAは免疫機能が低下している人に対しての効果をまだ評価中であるため、J&J製ワクチンの接種を受けた人には現在、追加接種は推奨されていません。詳細については、下記の「[免疫機能の低下している人はCOVID-19ワクチン接種を受けることができますか？](#)」をご覧ください。

現時点では、ブースター接種は一般の人々向けには推奨されていません。

ワクチン接種を完了したと見なされるのはいつですか？

以下の条件から2週間経過した場合にCOVID-19に対する[ワクチン接種完了](#)と見なされます。

- ジョンソン&ジョンソン (J&J) /ヤンセン製 COVID-19 ワクチン接種を1回接種、または、
- ファイザーまたはモデルナ製 COVID-19 ワクチンの2回目の接種、または、
- 世界保健機関によって緊急使用のためにリストされている COVID-19 ワクチンの必要接種回数を終了。

免疫不全の方の詳細については、下記の「[免疫機能の低下している人はCOVID-19ワクチン接種を受けることができますか？](#)」をご覧ください。



ワクチン接種を受けるとき、またはその後仕事ができなくなった場合、病気休暇をとることはできますか？

25人以上の従業員を抱える雇用主に従事する公的、または民間セクターの対象となる従業員は、2021年1月1日から2021年9月30日の間、最大80時間のCOVID-19関連の病気休暇を取る権利があります。これには、ワクチン接種を受ける、またはワクチンに関連した症状のために通勤や在宅勤務ができなくなったりする場合が含まれます。詳細については、2021年のCOVID-19補足的有給病気休暇に関する[よくある質問](#)、及び[ポスター](#)を参照してください。

ワクチン記録のコピーはどこで入手できますか？

CDC の COVID-19 ワクチン接種記録カード（ホワイトカード）は、ワクチン接種の公式証明書です。ワクチン接種時に全員に1枚付与される必要があります。取り換えることはできませんので、安全に保管してください。写真を撮るか、そのコピーを作成することを検討しましょう。

カリフォルニアでワクチン接種を受けている人なら誰でも、myvaccinerecord.cdph.ca.gov からデジタル COVID-19 ワクチン接種記録を入手することができます。これも公的な記録です。Android の携帯電話用の GooglePay デジタルウォレットにダウンロード可能です。（iPhone 用の AppleWallet はまもなく利用可能）。詳細については、[ワクチン接種記録](#)のウェブページにアクセスしてください。

ワクチンについて

ワクチンはどのように機能しますか？

ワクチンは、病原体を認識して撃退するために身体の自然な防衛作用を準備することで機能します。

- 一部のワクチンには、死滅させたまたは弱毒化した病原体が含まれています。
- その他のワクチンには、病原体の構造の一部のように見えるように作られた物質が含まれています。
- COVID-19ワクチンは、病原体の一部のように見えるタンパク質を作るように体に教えます。これらには、生ウイルス、弱毒化、または死滅させたウイルス、及びいかなる形態のCOVID-19ウイルスをも含まれていません。（詳細については、「COVID-19ワクチンはどのように機能しますか？」の項を参照のこと）。

ワクチン接種をすると、免疫システムが以下の応答をします。これにより、

- 抗体が産生されます。抗体とは、病気と闘うために免疫システムが自然に産生するタンパク質です。
- 将来の感染に対応するために免疫細胞を準備します。
- 病気とそれに闘う方法を覚えます。ワクチン接種後に病原体に曝露された場合、免疫システムが病気になる前に素早く病原体を排除します。

この仕組みがワクチンを非常に効果的なものにします。ワクチンは、病気の発症後に治療するのではなく、事前に病気になることを防ぐのです。

COVID-19ワクチンはどのように機能しますか？

3つのCOVID-19ワクチンはすべて、スパイクタンパク質（COVID-19ウイルスの表面にある冠状のスパイク）の模倣タンパク質の作り方を細胞に教えることにより機能します。スパイクタンパク質を作ることは私たちの体の細胞に害を与えません。

- 私たちの免疫システムは、スパイクタンパク質を見て、それらが非自己(自分の体に本来属していない)であると認識します。
- 私たちの体は免疫応答を構築することによって反応します。COVID-19ウイルスのスパイクタンパク質に対して作用する抗体を産生し、免疫細胞を準備します。これにより、将来ウイ



ルスにさらされた場合でも保護されます。

COVID-19ワクチンの場合、スパイクタンパク質を作るように細胞に教える方法が異なります。

- ファイザーとモデルナ製のワクチンは、mRNAワクチンと呼ばれます。メッセンジャーRNA (mRNA) は、私たちの体にタンパク質の作り方を教える遺伝物質です。ワクチンのmRNAは、小さな油性の泡 (脂質ナノ粒子として知られる) に含まれています。mRNAは細胞内に入り、「スパイクタンパク質」のコピー作り方を教えます。
- J&J/ ヤンセン製のワクチンはウイルスベクターワクチンと呼ばれています。ベクター (またはビークル) は、無害なウイルスを使用して遺伝物質を細胞に運びます。私たちの細胞は遺伝物質を読み取ってmRNAを作り、このmRNAが私たちの体の細胞にスパイクタンパク質を作るように教えます。ウイルスベクターは、一般的な風邪ウイルスの無害なバージョンです。これは、細胞内で複製したり病気を引き起こしたりすることはできず、DNAを変化させることもできません。

詳細については、CDCのウェブサイトの[COVID-19ワクチンの作用機序を理解する](#)をご覧ください。

ワクチンの成分は何ですか？

完全な成分リストについては、各ワクチンのワクチン接種を受ける方と介護者向けのファクトシート：[Pfizer-BioNTech COVID-19ワクチン](#)、[Moderna COVID-19ワクチン](#)、及び[J&J/Janssen COVID-19 ワクチン](#)を参照してください。ファイザー及びモデルナ製ワクチンにはポリエチレングリコール (PEG) が含まれ、J&Jワクチンにはポリソルベートが含まれています。いずれのワクチンにも、卵、ゼラチン、ラテックス、及び防腐剤は含まれていません。

COVID-19 ワクチンには中絶胎児組織を由来とする細胞が含まれていますか？

いいえ、米国内での使用が許可されているCOVID-19ワクチンには、胎児組織や胎児細胞は含まれていません。

- **ファイザー及びモデルナ**は、COVID-19 ワクチンの開発または製造に胎児細胞株を使用していません。ただし、人への臨床試験が行われる前の、実験室に於ける試験に於いて胎児細胞株が使用されています。
- **ジョンソン&ジョンソン**は、胎児細胞株を使用して COVID-19 ワクチンを開発及び試験を行っています。また胎児細胞株をワクチンの製造に使用しています。COVID-19 ワクチン自体には胎児細胞は含まれていません。

胎児細胞株は、1973年と1985年に行われた2度の中絶による胎児組織の細胞から実験室で作られました。使用された胎児細胞はいずれも、最近行われた中絶、またはワクチン開発やその他の研究のみを目的として行われた中絶によるものではありません。

カトリック教会は、この目的に於ける胎児細胞の使用について考察し、「研究及び製造過程で中絶胎児組織に由来する細胞株を使用したCOVID-19ワクチンの接種を受けることは道徳的に許容できる」と述べています。本問題を懸念する場合は、[COVID-19 ワクチン及び胎児細胞株](#)に関する文書を注意深く確認して、ワクチン接種を受けるにあたり、十分な情報に基づいた決定を下せるようにすることをお勧めします。

安全性と副反応

ワクチンからCOVID-19に感染することはありますか？

いいえ。ワクチン接種によりCOVID-19に感染することはありません。いずれのCOVID-19ワクチンにも、COVID-19を引き起こすウイルスは含まれていません。

ワクチン接種直後にCOVID-19に感染した場合は、接種を受けた頃にCOVID-19感染者から感染したことが原因です。感染してから症状が現れるまで最大14日かかる場合があります。したがって、ワクチン接



種の直前に感染した場合、ワクチン接種を受けるまで病気にならない場合があります。ワクチン接種を受けた後に感染する可能性もあります。これは、体が免疫を構築するのに時間を要すること、ワクチンは非常に効果的であっても、その効果は100%ではないためです。ワクチンを接種後1日ないし2日ほど発熱や、倦怠感などの症状を起こす場合があります。これらのワクチンの副反応は正常で、身体が免疫力を強化していることを示します。

いずれ子供を持ちたいと思っていますが、COVID-19ワクチン接種を受けても安全ですか？

はい。CDC（疾病予防管理センター）は、妊娠中、授乳中、現在妊娠しようとしている人、または将来妊娠する可能性のある人を含む、12歳以上のすべての人にワクチン接種を推奨しています。妊娠中の方は、妊娠していない方と比較して、COVID-19に感染した場合、重症になる可能性が高くなります。さらに、妊娠中の方は、COVID-19に感染していると、早産などの合併症を起こす可能性が高くなります。

COVID-19ワクチンが胎盤の発達を含む妊娠に問題を引き起こすという証拠はありません。また、女性または男性の不妊症の問題がCOVID-19ワクチンを含むワクチンの副反応であるという証拠もありません。ワクチンは人のDNAを変化させることはなく、思春期や十代の青少年の発達に影響を与えるという証拠はありません。

詳細については、CDCのウェブページ、[妊娠を希望されている方へのCOVID-19ワクチン](#)をご覧ください。

COVID-19ワクチンは月経に影響を及ぼしますか？

一部の女性は、ワクチン接種後の生理の変化を報告しています。これには、より多い出血や酷い生理痛などが含まれます。これらの変化がワクチンによるものかどうかはまだ分かっていません。月経の変化はワクチンの臨床試験からは報告されておらず、この問題に関する研究結果はまだありません。ストレスや睡眠、食事、運動、一部の薬など、多くの原因が月経周期の変化を引き起こす可能性があることを認識しておくことが重要です。生理不順は10代の若者の間では非常に一般的なものであり、特定の原因がまったくない場合があります。ご自身の月経やお子さんの月経について懸念がある場合は、医師に相談してください。

COVID-19ワクチンの一般的な副反応はどのようなものですか？

COVID-19ワクチン接種後、インフルエンザワクチンや帯状疱疹ワクチン接種後のような副反応が出る場合があります。2回の接種を要するワクチンの場合、2回目の接種後に副反応が現れるのがより一般的です。これらの副反応は、日頃の生活に多少影響してくるかもしれませんが、1日か2日以内に体調は改善するはずです。全ての人に副反応が出るわけではありません。副反応には以下が含まれます。

- 発熱、悪寒、及び筋肉痛
- 頭痛
- 倦怠感
- 腕の痛みまたは発赤

副反応は正常な反応であり、ワクチンが効果を現していることを示しています。これはあなたの体がウイルスと戦い、免疫力を高めることを学んでいることを示しています。すべての人に副反応が現れるわけではありません。1回目の接種後に副反応が出た場合でも、ワクチン接種提供者または医師があなたに接種を受けないよう指示しない限り、2回目の接種を受けることが重要です。



次のような場合は医師にご相談ください。

- ワクチンの副反応が2日以上続く。
- ワクチン接種後2日以上経過してから新しい症状が現れる。
- 咳、息切れ、鼻水、喉の痛み、または味覚や嗅覚の新たな喪失（このような症状はワクチンの副反応ではないため）
- 症状が悪化したり、懸念される。

深刻な副反応はありますか？

はい、深刻な副反応が出る場合がありますが、これは非常にまれです。ワクチン安全性監視システムは、以下に説明する4つの深刻な健康問題を特定しています。ワクチン接種を受けた場合は、「ワクチン接種後」を参照して、注意すべき症状について詳しく知っておきましょう。

- **アナフィラキシー** - アナフィラキシーは、いかなるワクチンでも接種後に発生する可能性があります。稀ではありますが深刻なアレルギー反応です。これは、米国でCOVID-19のワクチン接種を受けた100万人あたり約2~5人の割合で発生しています。COVID-19に対するワクチン接種後は短時間の経過観察が行われるので、アナフィラキシーが発生した場合でも直ちに治療を施すことができます。詳細については、CDCのウェブページ「COVID-19ワクチン接種後にアレルギー反応が現れた場合の対処方法」をご覧ください。
- **血小板減少症候群を伴う血栓症 (TTS)** : TTS の発生は稀ですが、血栓と血小板の減少を伴う深刻な状態です。これは、J&J製のワクチン接種者に起きる副反応として報告されています。50歳未満の女性は、このまれな病状を発症するリスクが高いことに特に注意してください。J&J製ワクチン接種を受けた18~49歳の女性100万人あたり約7人がTTSを発症しています。50歳以上の女性と全年齢層の男性の、TTSを発症するリスクは更に低くなっています。詳細については、CDCの「J&J製ワクチンに関するよくある質問」のウェブページをご覧ください。
- **ギランバレー症候群 (GBS)** : GBS は、体内の免疫系が神経細胞に損傷を与えるまれな疾患です。筋力低下や、時には麻痺を引き起こします。大抵の人は、完全に回復しますが、永続的な神経への損傷が残る人もいます。GBS は、J&J製ワクチンの接種者に起きる副反応として報告されています。男性にこの症状がよく見られ、特に50歳以上の男性に多いです。GBSを発症した人のうち、ほぼすべてがワクチンを接種後6週間以内に発症しています。その中の多くは最初の3週間で発病しています。全体で、J&J製ワクチンの接種を受けた100万人に7.8人の割合でGBSを発病すると推定されています。
- **心筋炎と心膜炎** - ファイザーとモデルナ製のワクチンの接種を受けた人には、心臓の筋肉の炎症（心筋炎）または心臓の外膜の炎症（心膜炎）の発生が確認されています。ほとんどの症例は、2回目のワクチン接種から数日後に発症し、青年期の男性と若年成人に多いと報告されています。治療を受けた人のほとんどは、投薬と休息で改善し、すぐに体調が回復しています。これらの症状を経験した人は大抵、症状の改善後、通常の日常生活に戻ることができます。

全体で、ファイザーまたはモデルナ製ワクチンの2回目の接種を受けた100万人あたり3.5人が心筋炎を発症すると推定されています。心筋炎と心膜炎はCOVID-19感染者によく見られ、COVID-19感染による心臓へのリスクがより深刻になる可能性について注意することが重要です。詳細については、CDCのウェブページ「mRNA COVID-19 ワクチン接種後の心筋炎及び心膜炎」を参照してください。



現在までに、米国では 3 億 5000 万回以上の COVID-19 ワクチン接種が行われています。副反応が発生することはありますが、非常にまれです。ワクチン接種を受けることの利点はそのリスクを上回っています。

COVID-19ワクチンは長期的な副反応を引き起こす可能性がありますか？

ワクチン接種後の長期的な副反応は非常にまれです。ワクチン接種後の経過観察では、副反応が発生する場合、通常ワクチン接種を受けてから6週間以内に発生することを歴史的に示しています。このため、食品医薬品局(FDA)は、認可されたCOVID-19ワクチンのそれぞれについて、最後に接種を受けてから少なくとも8週間、追従して研究することを要請しています。CDCは引き続きFDAによって承認されたCOVID-19ワクチンを注意深く監視しています。このようにして、J&Jワクチンの接種を受けたごく少数の女性に血小板の減少を伴うまれな血栓症を発症することが早期に判明しました（上記を参照）。科学者が安全性の問題とワクチンの関係を発見した場合、FDAとワクチン製造業者は、特定の安全性の懸念（特定のロットの問題、製造上の問題、またはワクチン自体の問題など）に対処するための適切な解決策に向けて取り組みます。

ワクチン接種後に有害事象（副反応の可能性）が発生した場合、どのように報告すればよいですか？

ワクチン接種後に有害事象（副反応の可能性）が現れた場合は、ワクチンが原因であるかどうか分からない場合でも、VAERSに報告してください。ワクチン有害事象報告システムは、FDAとCDCが発生する安全上の問題を検出するために使用している早期警告システムです。報告するには、1-800-822-7967に電話するか、<https://vaers.hhs.gov/reportevent.html>にアクセスしてください。

[V-Safe](#) (CDCのワクチン接種後の健康チェック)に登録した場合は、スマートフォンアプリから症状を報告することもできます。

VAERSもV-safeも医学的アドバイスを提供していません。COVID-19ワクチン接種後に懸念される症状や健康上の問題がある場合は、医療従事者に相談するか、治療を受けるようにしてください。

ワクチンを接種すると、COVID-19検査で陽性反応を示しますか？

いいえ。ワクチンの接種により、現在のCOVID-19感染を検出するPCR検査、またはウイルス抗原検査（鼻や喉のぬぐい液、または唾液の検査など）で陽性と判定されることはありません。一部の抗体（血液）検査で陽性結果が出る場合があります。これは、ワクチンが体に抗体を産生するように学習させているためです。

COVID-19検査の詳細は公衆衛生局の検査に関するウェブページ ph.lacounty.gov/covidtests をご覧ください。

誰がワクチン接種を受けることができますか？

すでにCOVID-19に感染した場合でも、ワクチン接種を受ける必要がありますか？

はい。COVID-19に感染したことがある場合でも、ワクチン接種は必要です。COVID-19感染後、どのくらいの期間あなたの体が保護されているかはまだ分かっていません。ワクチン接種を受けると、免疫力が高まり、感染性の高いウイルスの変異株を含む、COVID-19に対する防御がより長期間にわたり強化されます。

COVID-19感染後にワクチン接種を受けても安全ですが、隔離期間が終了するまで待つ必要があります。これは、ワクチン接種を受けに行くときに医療従事者や他の人に感染させないようにするためです。モノクローナル抗体治療または回復期治療を受けたことがある場合は、90日間の期間を置いてからCOVID-19ワクチン接種を受ける必要があります。





子供はCOVID-19ワクチン接種を受けることができますか？

12歳以上の子供はファイザー製ワクチンの接種を受けることができます。現在12歳未満の子供を対象にワクチンの研究がなされており、晩秋または冬頃には年少の子供がワクチンを利用できるようになる可能性があります。

パンデミックが始まって以来、米国では400万人以上の子供たちがCOVID-19検査で陽性を示しています。COVID-19は大人より子供の症状が軽い場合が多いですが、一部の子供はCOVID-19によって非常に重篤な病気になったり、健康上の問題が続く場合があります。子供にワクチン接種を受けさせると、COVID-19の原因となるウイルスに感染するリスクが低くなります。このワクチンは、小児多系統炎症性症候群 (MIS-C) から子供を保護します。COVID-19に感染した青少年に発症するのは稀ですが、深刻な状態です。

感染した子供は、体調が悪くなくてもウイルスを他の人に拡散することができます。ワクチン接種を受けることは、友人や家族、そしてより大きなコミュニティを保護するのに役立ちます。これには、免疫機能の低い人や、まだワクチン接種を受けていない12歳未満の子供も含まれます。

あなたの子供がワクチン接種を完了すれば、お友達に会ったり、スポーツをしたり、親戚に会いに旅行したり、学校にまた通い出す時でもウイルスに感染する可能性が低くなります。友人、家族、教師、チームメイトがCOVID-19に感染した場合でも、その子供達は検疫を行うする必要はありません。

詳細については、[VaccinateLACounty.com](https://www.vaccinateLACounty.com) ウェブページの [親向けCOVID-19に関するよくある質問](#) を参照してください。

免疫機能が低下している人はCOVID-19ワクチン接種を受けることができますか？

はい。免疫機能が低下（免疫不全）している人は、COVID-19に感染するリスクが高いため、ワクチン接種を受けることが強く推奨されます。そのような方々は感染した場合、重篤な症状が出る可能性が高くなります。デルタ株は今までのウイルス変異株よりも感染力が高いため主流化している現在、ワクチン接種を受けることは特に重要になっています。

ワクチンは、特定の健康状態の人や [免疫機能を弱める](#) 薬を服用している人（たとえば、血液関連の癌や癌の特定の治療、臓器移植、ある種の自己免疫性疾患）にはうまく機能しない場合があります。

あなたの免疫機能が、中等度または重度に低下しており、ファイザーまたはモデルナ製のワクチンの接種を2回受けている場合は、3回目のワクチン接種を受けることが推奨されます。COVID-19ワクチンの追加接種の必要性和接種を受ける最適な時期について医師にご相談ください。mRNAワクチンの3回目の接種は、2回目の接種から28日以上を開けて行う必要があります。可能であれば、同じ種類のワクチンの接種を受けてください。例えば、ファイザー製ワクチンの接種を2回受けた場合は、3回目の接種でもファイザー製ワクチンを受けるようにしてください。現在、J&J製ワクチン接種者については、追加のワクチン接種は推奨されていません。免疫機能が低下している方々に対するJ&J製ワクチンの効果については、FDAがまだデータを評価しているところです。

免疫力の低下している方は、3回目のワクチン接種を受けた後でもウイルスから身を守り続ける措置を取ることが非常に重要です。これには、適切なマスクの着用、物理的な距離の維持、空気が流れが悪い混雑した場所やスペースの回避、頻繁な手洗いが含まれます。より高いレベルの保護を得るために、「[二重マスク](#)」（医療用マスクの上に布製マスクを着用する）または N95 高性能マスクの使用を検討してください。あなたが濃厚接触している人々もワクチン接種を受けることにより、あなたを保護することになります。



アレルギーのある人はCOVID-19ワクチン接種を受けることができますか？

場合によります。

- 経口薬、食品(卵を含む)、ラテックス、ペット、花粉などにアレルギーのある人、またはアレルギーの家族歴がある人は、ワクチン接種を受けることができます。
- ワクチンまたは注射療法に対してアレルギー反応を起こしたことのある人は、医師に相談して、ワクチン接種を受けても安全かどうかを判断する必要があります。
- ポリエチレングリコール (PEG) にアレルギーがある場合は、ファイザーまたはモデルナ製のワクチンの接種を受けないでください。J&J製ワクチン接種を受けることができるかどうか医師に相談してください。
- ポリソルベートにアレルギーがある場合は、J&J製ワクチンの接種を受けないでください。ファイザーまたはモデルナ製のワクチン接種を受けることができるかどうか医師に相談してください。

どのワクチンでもアナフィラキシー(重度のアレルギー反応)を起こすリスクはわずかです。COVID-19 ワクチン接種後に、接種者全員の短時間観察を行う理由はここにあります。

アレルギー反応に関する情報は変更される場合があります。CDCの「[アレルギーを持つ方とCOVID-19 ワクチン](#)」のウェブページから最新のガイダンスを確認し、医師にご相談ください

COVID-19ワクチンは、妊婦に推奨されますか？

はい。CDCと、米国産科婦人科学会、母体胎児医学会、米国看護師助産師学会など、妊娠に関する専門家は、妊娠中及び授乳中の女性へのCOVID-19ワクチン接種を推奨しています。

COVID-19ワクチン接種が胎盤の発達を含む妊娠に問題を引き起こすという証拠はありません。2021年7月の時点で、139,000人以上の妊娠中の方がワクチン接種を受けていますが、妊娠や胎児への問題は発生していません。流産、発育障害、または先天性欠損症のリスクが高まるという報告はありません。

COVID-19自体が妊娠中の深刻な懸念事項であることは分かっています。COVID-19に感染した妊娠中の女性及び最近妊娠した女性は、妊娠していない人に比べより重症になり、入院する可能性が高くなります。また、COVID-19に感染していない妊娠中の女性と比較して、早産などの妊娠合併症を起こす可能性が高くなります。

COVID-19ワクチン接種は、妊娠中の方をCOVID-19による重篤な疾病から守ります。COVID-19 mRNA ワクチン接種者に関する研究で、乳児の臍帯血と母乳に抗体が確認されました。これは、妊娠中のワクチン接種がCOVID-19から乳児を保護するのにも役立つ可能性があることを意味しています。

妊娠中のCOVID-19ワクチン接種の安全性と有効性に関する証拠が増えていることは、COVID-19ワクチン接種の利点が既知または潜在的なリスクを上回っていることを示しています。詳細については、母体胎児医学会のガイダンス「[妊娠中または授乳中のCOVID-19ワクチン接種](#)」及びCDCのウェブページ「[妊娠中または授乳中のCOVID-19ワクチン](#)」を参照してください。

妊娠中でワクチン接種について質問がある場合は、医師に相談しましょう。また、MotherToBaby では、英語またはスペイン語で専門家と相談することもできます。この秘密厳守の相談無料サービスは、月曜日から金曜日(8am-5pm)に利用できます。866-626-6847へ電話、855.999.8525にテキストの送信、ContactUs@mothertobaby.orgへの電子メール、またはmothertobaby.org/ask-an-expert/でチャットで連絡してください。



母乳育児中の方はワクチン接種を受けることができますか？

はい。CDC、アメリカ産科婦人科学会、母体胎児医学会、アメリカ看護師助産師学会などの専門家は、母乳育児をしている人にCOVID-19ワクチン接種を受けることを推奨しています。

授乳中の女性はワクチンの臨床試験の参加者に含まれていません。しかし、ワクチンの作用機序を考えると、ワクチンが乳児にとってリスクになるとは考えられていません。最近の報告では、ファイザー製またはモデルナ製ワクチンの接種を受けた母乳育児中の人の母乳には抗体が含まれており、乳児の保護に役立つ可能性があることが分かっています。これらのワクチンは母乳には移行しません。

別のワクチンと同時にCOVID-19のワクチン接種を受けることはできますか？

はい。大人と12歳以上の子供は、はしかや百日咳などの他のワクチンと同時にCOVID-19のワクチン接種を受けることができます。お子さんが必要な他のワクチンを提供していない場所でCOVID-19ワクチンを接種した場合は、いつでも別の場所に行って接種することができます。ワクチンの合間に待つ必要はありません。

COVID-19 ワクチン接種を受けたばかりの場合、定期的な医療処置や検診を受けることはできますか？

ほとんどの日常的な医療処置または検診は、COVID-19 ワクチンの接種前または接種後に行うことができます。

注：定期的な乳がん検診の予定があり、最近 COVID-19 のワクチン接種を受けた場合は、マンモグラムの検査を受けるまでにどのくらい待つ必要があるかを医師に確認してください。COVID-19 ワクチン接種を受けた人は、注射を受けた場所の付近の腋窩リンパ節が腫れる（リンパ節腫脹と呼ばれる）ことがあります。この腫れは、体が COVID-19 に対する保護を構築していること示す正常な兆候です。この一時的な腫れはマンモグラムの誤読を引き起こす可能性があるため、ワクチン接種についてスタッフに伝えることが重要です。詳細については、乳房画像学会の [COVID-19 ワクチン接種を受ける女性向け推奨事項](#) をご覧ください。

COVID-19 ワクチンは、結核（TB）のある種のスクリーニング検査の結果にも影響を与える可能性があります。CDC のウェブページ [COVID-19 ワクチン接種及びその他の医療処置](#) を参照してください。

自身と他者を守る

ワクチン接種後にCOVID-19の症状が出た場合はどうしたらよいですか？

ワクチン接種による副反応のいくつかは、COVID-19の症状に似ています。以下のような場合は、検査を受けて自宅待機を行い、他の人から離れてください。

- 咳、息切れ、鼻水、喉の痛み、または味覚や嗅覚の新たな喪失-これらの症状はワクチンの副反応ではありません。
- ワクチンの副反応がワクチン接種後 2 日以上続いている。（上記を参照）

ワクチン接種を受けたとしても、COVID-19の症状に注意を払うことが依然として重要です。

社会的距離やマスクの着用など、他の予防措置を取ることができるのに、なぜワクチン接種が必要なのですか？

接種は、このパンデミックを食い止めるための最善の方法です。ワクチンはあなたがウイルスに曝露した場合に、あなたの体がウイルスと戦う準備ができるよう免疫システムを強化します。一方、マスクや物理的距離のようなその他の手段は、ウイルスへの曝露や、ウイルスの拡散の可能性を低くするのに役



立ちます。ワクチンは、1人または複数の家族がCOVID-19に感染し検疫が必要な場合に、離れて過ごすことが難しい家庭内での拡散を防ぐために特に重要です。ワクチン接種は、新しいウイルスの変異種の発生・拡散を防ぐための最善の方法でもあります。

ワクチン接種を受けていますが、COVID-19感染者と接触のあった場合、検疫を行う必要はありますか？

症状がなく、[ワクチン接種を完了](#)している場合は、検疫や検査を受ける必要はありません（矯正施設や拘置所、グループホームなどの集団の環境に居住する場合を除く）。しかし、14日間COVID-19の症状について自身の健康を観察し、ご自身と他人を引き続き守る必要があります。詳細については、DPHのウェブページ：[ワクチン接種を完了した場合](#)をご覧ください。